

タカラスタンダード 創業 110 周年

本社エントランスが「ホーローアートスクエア」としてリニューアル 最新のホーロー技術を体感していただける場に

独自の「高品位ホーロー」を生かした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、創業 110 周年を記念して、本社エントランスをリニューアルしましたのでお知らせいたします。さまざまな用途でホーロー内外装材「エマウォール」を使用し、ご来社の皆さまに当社独自の「高品位ホーロー」のさらなる可能性を感じていただけるスペースに生まれ変わりました。



タカラスタンダードは 1912 年にホーローメーカーとして創業し、以来ずっと中核技術・素材としてホーローにこだわってきました。1957 年に流し台を発売し水回り機器業界に参入して以降は、キッチンや浴室などが製造販売の中心ですが、近年、長年培ってきたホーローの技術を建材に応用した内外装材「エマウォール」を中心とするパネル事業にも注力しています。2015 年には多彩な色柄の表現が可能なインクジェット印刷技術を開発し、デザイン性が飛躍的に向上。住宅の内装だけでなく、オフィスなどの非住宅分野での採用実績も伸ばしています。

そしてこの度、110 周年を記念して、タカラスタンダード本社のエントランスがリニューアル。最新のホーロー技術を駆使したさまざまな「エマウォール」を展示し、ホーローの新たな可能性を強く感じていただける場所へと生まれ変わりました。

例えば、タカラスタンダードの歴史を紹介するアーカイブコーナーでは、ホーロー壁パネルに、小さくカットして写真を焼き付けたホーローパネルを張り付けています。歴史上の主な出来事が、下地が鉄というホーローの特性を生かしてマグネットで付いているので、項目の位置変更や追加など、アレンジが自由自在。当社に限らず、さまざまなケースに応用が可能なデザインです。

また、奥に設置されている階段状のベンチは、背面のホーロー部分にプロジェクションマッピングが可能になっており、定期的に当社ブランドをアピールする映像や当社からのお知らせなどが流れ、来客の皆さまにもお楽しみいただけます。今後、このプロジェクションマッピングを活用したさまざまなコラボレーションも検討していきます。その他にも、さまざまな形で「エマウォール」が活用されています。

タカラスタンダードはこれからも独自の「高品位ホーロー」を通してさまざまな提案を行い、皆さまの暮らしを豊かにしてまいります。

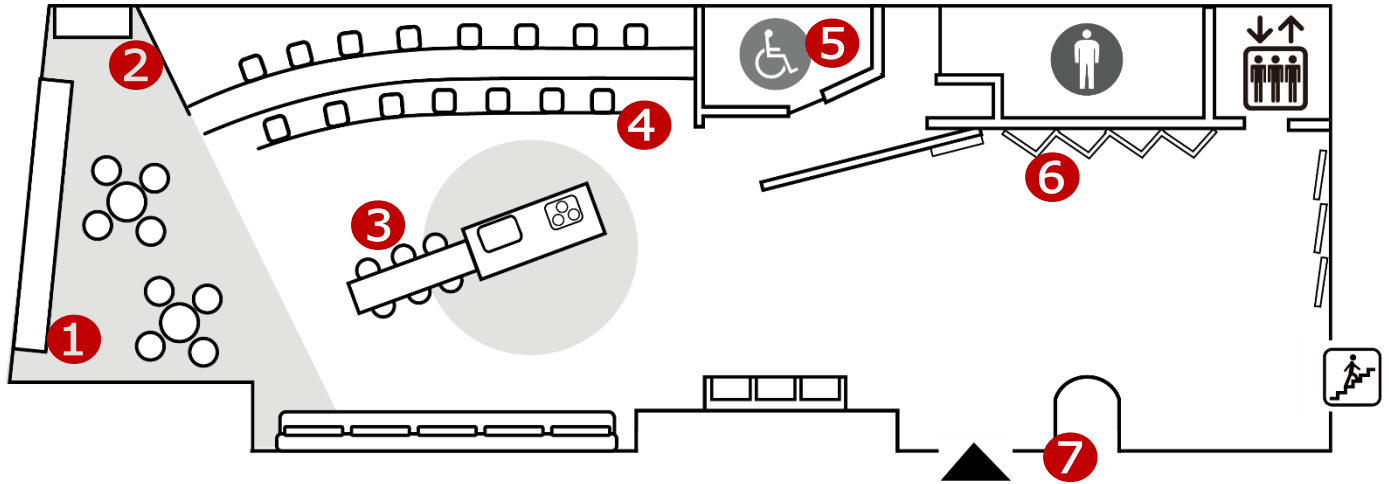
<参考資料：新エントランス「ホーローアートスクエア」詳細>

【名称】「ホーローアートスクエア」

【所在地】大阪府大阪市城東区嶋野東 1-2-1 タカラスタンダード株式会社 本社新館 1 階

【広さ】約 155 ㎡

【デザイン・監修】株式会社アロイ カラーデザイン 代表取締役社長 北川めぐみ氏



① タカラスタンダードアーカイブ

1912年の創業から現在までの歴史を年表形式でご紹介。過去のカタログのレプリカも展示しており、100年を超えてホーローにこだわり続けてきたタカラスタンダードの歴史を紐解いていただけます。

また、年表部分はホーロー壁パネルに小さくカットしたホーローパネルをマグネットで張り付けたもの。項目の位置変更や追加の際のメンテナンス性も考慮されています。



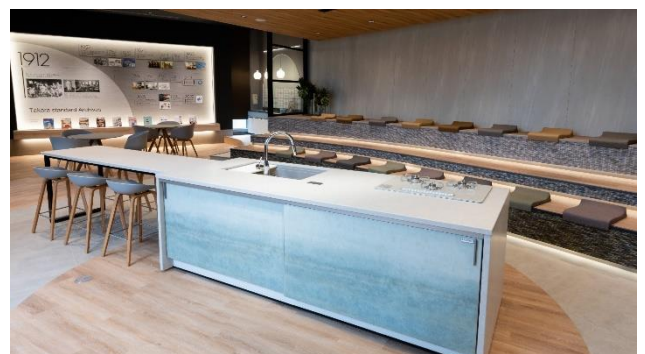
② 世界初のホーロー流し台「E型」展示



1967年に製造された最初の商品を展示。実際にお客さまが2004年まで37年間使用されていた商品を取り換えの際に引き取らせていただいたものですが、キャビネット扉などが非常にきれいな状態のままです。60年以上経っても劣化せず、変わらないホーローの美しさと強さを実感していただけます。背景のパネルはあえて昭和を感じさせるレトロなタイル風をデザイン。変わらないホーローと、そのデザインが広げる新たな可能性を比較していただける展示です。

③ フラッグシップモデル「レミュー〈灰緑〉」展示

2021年8月に新たなデザインを発売したホーローシステムキッチンフラッグシップモデル「レミュー」を展示しています。従来ホーローには光沢があるという常識を覆したマット調仕上げで、独自のインクジェット印刷技術を活用した扉柄〈灰緑〉をご覧ください。スタイリッシュなエントランス中央に置いても違和感のない高いデザイン性を実感していただけると共に、②のホーロー流し台と見比べることで、当社の起こし続けてきたイノベーションを感じていただけます。



④ プロジェクションマッピングが可能なホーロー階段ベンチ

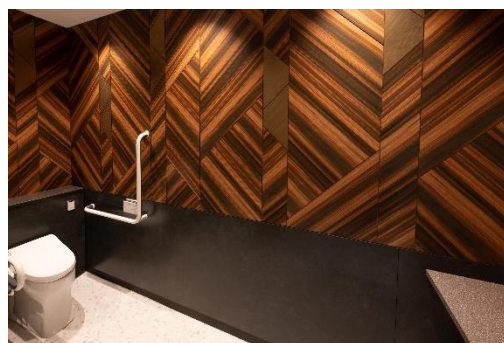
階段状になっているベンチの背面はホーロー製。クッションがマグネットで取り付けられているため、クッションを外してホーロー面の除菌や掃除が簡単にでき、多くの方が利用するパブリックスペースに最適です。

また、階段部分全体にはプロジェクションマッピングが可能になっており、定期的に映像が流れます。今後、さまざまなコラボレーションやイベントも検討しています。



⑤ インテリアを意識したバリアフリートイレ

清掃性や耐久性だけではなく、高いデザイン性を追求したバリアフリートイレです。レーザー加工技術を用いたさまざまな形のホーローパネルの木目とゴールドを組み合わせ、高級感と落ち着きのある雰囲気を作り出しました。デザインに合わせて形を自由に加工できるホーローパネルについては、今後商品化も検討しています。



⑥ 製造工程展示パネル



入口正面の大きなパネルでは、当社の独自素材である「高品位ホーロー」ができるまでを豆知識と共に展示しています。インクジェット印刷技術による高精細な表現で、インパクトのある製造工程の写真や当社のこだわりをご覧ください。

⑦ エントランスパネル

入口部分には、外装材としての「エマウォール」を使用。これまで外装材は転写紙による柄付けのみでしたが、今回初めてインクジェット印刷を活用した外装材を採用。今後商品化も検討し、内装材のみならず、外装材としての「エマウォール」の可能性をさらに広げていきます。



<タカラスタンダードとは>

1912年創業。すべての人の暮らしをより心地よくするため、独自の「高品位ホーロー」技術を生かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業110年） / 売上高<連結>：2,115億円（2021年度） / 従業員数<連結>：6,298名（2022年3月末時点）]